

柱4 歴史や文化、スポーツを生かしたにぎわいの再興



～「観光立市よこすか」の実現～

（総合戦略 基本目標4 関係人口の創出や定住を促す魅力的な都市環境をつくる）

○数値目標

項 目	現状値	目標値 (2025 年度)
観光客消費額 神奈川県観光客消費動向等調査における、三浦半島（鎌倉地区以外）の宿泊客および日帰り客の平均消費単価を、観光客数に乘じた額	243 億円 (2020 年度) 452 億円 (2018 年度)	636 億円以上
観光客数 日帰り観光客数と宿泊観光客数の合計	475 万人 (2020 年度) 857 万人 (2018 年度)	1,000 万人以上

※2020 年度は、新型コロナウイルス感染症により影響が生じています。

○施策の一覧

- （1）ルートミュージアムのさらなる強化
 - ①ティボディエ邸と周辺の仕掛けづくり
 - ②浦賀地区の活性化
 - ③公園のさらなる利活用
 - ④未来への平和と安寧を願う場所「平和中央公園」
 - ⑤個性ある商店街への支援
 - ⑥美術館の集客力の向上
- （2）周遊と消費の促進
 - ①交通手段の仕掛けづくり
 - ②宿泊者等の増加
 - ③お土産の開発や販路拡大の支援
- （3）音楽やダンス、エンターテインメントによるにぎわいの創出
 - ①音楽によるにぎわいづくり

- ②ダンスによるにぎわいづくり
- ③うみかぜ公園周辺のにぎわいづくり
- ④大河ドラマの活用
- ⑤海上自衛隊「国際観艦式」との連携

(4) スポーツによるにぎわいの創出

- ①プロスポーツチームとの連携
- ②マリンスポーツ、マリンレジャーによるにぎわいづくり
- ③アーバンスポーツ、eスポーツによるにぎわいづくり

(1) ルートミュージアムのさらなる強化

○重要業績評価指標 (KPI)

項 目	現状値	目標値 (2025 年度)
ティボディエ邸の入館者数 1 年間の来館者数の合計	85,085 人 (2021.5.29～ 2021.12.31)	150,000 人
浦賀レンガドックへの来場者数 新規イベントや観光ツアー等の来場者数の合計	18,000 人 (2021 年度)	70,000 人



▲ティボディエ邸（外観）



▲ティボディエ邸内のガイド

①ティボディエ邸と周辺の仕掛けづくり【拡充】



ルートミュージアムの拠点であるティボディエ邸のコンテンツを充実させるとともに、周辺施設と連携したにぎわいづくりを進めます。

ルートミュージアムのはじまりの場所となるヴェルニー公園内のティボディエ邸では、館内の装飾を強化し、当時の雰囲気をもよりリアルに再現するほか、横須賀の歴史を3DCGの大型スクリーンで体感できる新作ムービーを公開します。

また、ウインターイルミネーションや、ティボディエの母国であるフランスにちなんだフェアなど、ヴェルニー公園全体を面として盛り上げる賑わい創出企画をはじめ、公園内に新しくオープンするレストランや、周辺の海での夜間クルーズ、猿島でのイベント開催など、民間事業者とも連携・協力することで、集客の促進を図ります。近隣のポートマーケットは、飲食・お土産などが揃った観光集客の核として、令和4年（2022年）中にオープンします。

（主な関連事業）

ルートミュージアム推進事業（P273）



▲①ティボディエ邸のシアタールーム

②浦賀地区の活性化【拡充（再掲）】



貴重なレンガドックを活用することで、集客を図るとともに、民間投資を呼び込んで地域全体の活性化を図ります。

レンガ造りのドライドックとして世界最大級の希少な施設である浦賀レンガドックは、ルートミュージアムのサテライト施設として位置づけており、新たな観光拠点として活用していきます。

護岸補修など適切な保存を行うとともに、民官による浦賀レンガドックを活用したイベントなどで知名度を高め、近隣の千代ヶ崎砲台跡などと併せて集客を図ります。また、浦賀の渡船について、管理・運航を民営化し、民間事業者が行う様々な取り組みとの相乗効果により、集客力向上を図ります。

隣接する浦賀警察署の跡地を神奈川県から取得し、行政センターに続く狭あいな道路に歩行者用通路を整備するとともに、その活用を検討していきます。こうした取り組みにより地域全体を活性化し、民間投資を呼び込んでいきます。

（主な関連事業）

浦賀レンガドック保存事業（P190）

浦賀警察署跡地取得事業（P240）

まちなか活性化事業（P256）

大規模プロジェクト推進事業（浦賀レンガドック）（P269）

エンターテインメント誘致事業（P270）

レンガドック関連資産等活用事業（P279）

浦賀奉行所跡地活用検討事業（P280）

浦賀レンガドック周辺地区整備事業（P287）



▲②浦賀レンガドック

③公園のさらなる利活用【拡充】



三笠公園のリニューアルを検討するほか、走水水源地公園に飲食店等を誘致し、新たな公園の利活用を進めます。

世界3大記念艦三笠がある三笠公園は、新たな魅力の創造に向け、リニューアルを検討します。また、桜の名所として知られる走水水源地公園では、お洒落なキッチンカーの誘致をはじめ利活用を図ります。

(主な関連事業)

走水水源地公園活用事業 (P282)

三笠公園リニューアルの検討 (P299)

④未来への平和と安寧を願う場所「平和中央公園」【新規】



音楽やアートなどの力も活用しながら、「平和中央公園」が持つ平和への思い・願いを紡ぎ、多くの方に伝えていきます。

横須賀の平和の象徴として存在してきた平和中央公園では、音楽やアートなどの力も活用し、公園が持つ平和への思い・願いを多くの方に伝えていきます。

(主な関連事業)

街なかミュージック支援事業 (P271)



▲③走水水源地公園

⑤個性ある商店街への支援【拡充】



個性ある観光資源を持つ商店街が、その魅力を更に高めるために行う事業等を支援します。

プロスポーツチームとの連携や、大河ドラマに関連した歴史や文化、個性的な街並み等を生かし、地域の商店街が行うまちの魅力を更に高め、活性化につながる事業を支援します。

(主な関連事業)

まちなか活性化事業 (P256)

⑥美術館の集客力の向上【拡充（再掲）】



横須賀美術館の魅力的なロケーションを生かした観光・集客施設としてのポテンシャルをさらに高められるよう、新たな取り組みにチャレンジします。

多くの方がアートに触れ、美術館に親しんでいただく機会を増やすため、著名な民間美術館との連携による知名度の高い作品の展示や、市内にある運慶仏像をはじめとした国指定重要文化財を含む仏像の展示など、新たな分野にもチャレンジし、より魅力的な展覧会を展開します。

また、野村萬斎氏らによる能楽の上演やデジタルアート展の実施など、新たな美術館としてチャレンジングで先進的な取り組みを進めます。

児童生徒造形作品展など、地域に根差した取り組みも、これまでと同様に進めます。

(主な関連事業)

横須賀美術館展覧会事業 (P279)



(2) 周遊と消費の促進

○重要業績評価指標 (KPI)

項 目	現状値	目標値 (2025 年度)
民間事業者との検討会開催回数 宿泊事業者や旅行事業者などと連携した取り組みについての検討会の開催	—	1 回

①交通手段の仕掛けづくり【新規】



ルートミュージアムのサテライト施設等を周遊する、魅力的な交通手段を用意します。

点在するルートミュージアムの各サテライト施設等をより効率的に周遊できるように、交通事業者等からアイデアやノウハウを生かした提案を募集し、効果的な提案には助成を行います。

(主な関連事業)

集客プロモーション事業 (P278)

②宿泊者等の増加【新規】



ホテルなどへの宿泊者や、団体ツアーなどの誘致に向け、民間事業者と一緒に検討します。

ホテルなどへの宿泊者の増加や、団体ツアーなど大人数の誘客を図るため、宿泊事業者や旅行事業者などと連携した取り組みについて検討します。

(主な関連事業)

集客プロモーション事業 (P278)



③お土産の開発や販路拡大の支援



「横須賀といえば」となるような定番のお土産をつくります。

令和3年度（2021年度）に引き続き令和4年度（2022年度）にも「横須賀おみやげアイデアコンテスト」を開催し、新たなお土産の開発を支援するとともに、コンテストで入賞した作品について、横須賀の定番お土産として定着を図るため、観光協会や民間事業者と連携しながらPRや販路拡大などの支援を行います。

（主な関連事業）

観光振興総務費（P276）

（3）音楽やダンス、エンターテインメントによるにぎわいの創出

○重要業績評価指標（KPI）

項 目	現状値	目標値 (2025 年度)
大規模音楽イベントの来場者数 各会場の来場者数の合計	—	20,000 人
ストリートダンス大会の来場者数 大会の出場者と観覧者数の合計	—	8,000 人



▲猿島公園での音楽イベント

①音楽によるにぎわいづくり【拡充】



市内の様々な場所で、様々なジャンルの音楽が楽しめる大規模なイベントを開催します。

市内の様々な場所で、ロックやジャズなど様々なジャンルの音楽が楽しめる大規模なイベントを開催します。また、音楽をより身近に感じられる「街なかピアノ」を増設するなど、横須賀のまち全体を”音楽”で楽しめる「街なかミュージック」の取り組みのさらなる充実を図ります。

(主な関連事業)

街なかミュージック支援事業 (P271)

②ダンスによるにぎわいづくり【拡充】



ストリートダンス大会の誘致など、躍動するダンスでまちを盛り上げます。

ヒップホップダンスなどのストリートダンス大会を誘致して、まち全体を盛り上げます。

また、屋外ダンス練習場所を整備し、街なかで誰もがダンスを楽しめる環境をつくるほか、夢に向かって努力する若い才能を応援するため、高校生ダンス大会の東日本大会の誘致や、市内中高生の活動を応援していきます。

(主な関連事業)

エンターテイメント推進事業 (P270)



▲①街なかピアノの設置

③うみかぜ公園周辺のにぎわいづくり【拡充】



うみかぜ公園周辺でのにぎわいづくりに向けて、様々な取り組みを行います。

うみかぜ公園では、民間企業と連携した新たなエンターテインメントの仕掛けづくりを進め、隣接する、よこすか海岸通りのイベントやアート、リニューアルと併せてにぎわいを創出します。

(主な関連事業)

大規模プロジェクト推進事業（1万メートルプロムナード）（P269）

エンターテインメント誘致事業（P270）

よこすか海岸通りリニューアル事業（P280）

④大河ドラマの活用【新規】



美術館や衣笠地区ほかで大河ドラマ関連の取り組みを行います。

令和4年（2022年）NHK大河ドラマの放映を機に、三浦一族の歴史で縁のある衣笠地区ほかへの集客が増えるように、商店街などの取り組みを支援します。

また、美術館における運慶展や能楽の上演のほか、周遊企画を行うことで、地域を盛り上げていきます。

(主な関連事業)

まちなか活性化事業（P256）

エンターテインメント誘致事業（P270）

集客プロモーション事業（P278）

横須賀美術館展覧会事業（P279）



⑤海上自衛隊「国際観艦式」との連携【新規】



国際観艦式の記念事業として、音楽イベント開催を検討します。

海上自衛隊創立 70 周年を記念した国際観艦式にあわせて、音楽イベントの開催を検討します。

(主な関連事業)

集客プロモーション事業 (P278)

(4) スポーツによるにぎわいの創出

○重要業績評価指標 (KPI)

項 目	現状値	目標値 (2025 年度)
ホームタウンチームの選手の学校訪問やイベント参加の回数 ホームタウンチームの選手やコーチが小学校・幼稚園・保育園・こども園に訪問した回数	42 回 (2020 年度)	50 回
ウインドサーフィンワールドカップの来場者数 大会期間中の延べ来場者数(オンライン視聴者数含む)	88,000 人 (2019 年度)	100,000 人
BMX フリースタイルジャパンカップの来場者数 大会期間中の延べ来場者数	—	15,000 人



▲BMX フリースタイル
ジャパンカップ (イメージ)

①プロスポーツチームとの連携【拡充】



横須賀をホームタウンとする横浜DeNAベイスターズや横浜F・マリノスと連携した取り組みをさらに進めます。

（横浜DeNAベイスターズとの連携）

現役選手やチアリーダーが小学校や幼稚園などを訪れ、野球を通して子どもたちとふれあう機会を設けたり、その他様々な取り組みを行っていきます。

また、DOCK OF BAYSTARS YOKOSUKA などで行われる秋季トレーニング時には、市内の子どもたちを対象としたイベントなどを実施し、トップアスリートを身近に感じることのできる環境づくりを推進するとともに、地域のにぎわいを創出します。

（横浜F・マリノスとの連携）

令和4年度（2022年度）の練習場オープンに向けて、小学校等での訪問サッカー教室などを通じて、選手やコーチとふれあい、スポーツの楽しさを子どもたちに伝える活動を展開します。

さらに、久里浜の街なかをマリノスのチームカラーであるトリコロールで装飾するほか、パブリックビューイング観戦を実施するなど、市民や地元商店街、事業者などと協力しながら様々な取り組みを行い、スポーツを核としたまちづくりを進めていきます。

（主な関連事業）

まちなか活性化事業（P256）

ホームタウンチーム活動推進事業（P275）



▲①幼稚園でのチアリーダー教室

②マリンスポーツ、マリンレジャーによるにぎわいづくり



横須賀の海を生かしたウインドサーフィンやマリンレジャーによる、地域のブランド力向上を図ります。

津久井浜海岸の環境を生かしたウインドサーフィンは、引き続き、ワールドカップ開催、ナショナルチームの合宿誘致、ジュニアアスリートの育成などを行い、「ウインドサーフィンのまち」として地域ブランド力の向上を図ります。

また、シーカヤックや SUP など海を活用した体験型コンテンツを提供する民間事業者に支援を行います。

(主な関連事業)

大規模スポーツ大会等誘致事業 (P271)

観光振興総務費 (P276)

③アーバンスポーツ、eスポーツによるにぎわいづくり【拡充】



若者に人気のあるBMXやeスポーツを活用し、「かっこいい」「先駆的」「ワクワクする」都市イメージを創造し、にぎわいにつなげます。

BMX フリースタイルジャパンカップの誘致や、e スポーツにおける市内高校の部活動支援および大会の開催などに取り組み、若者に人気のあるアーバンスポーツや、e スポーツの力を生かしたまちづくりを進めます。

(主な関連事業)

大規模スポーツ大会等誘致事業 (P271)

集客プロモーション事業 (P278)



▲②ウインドサーフィンW杯

○令和6年度予算の重点投資

柱4 歴史や文化、スポーツを生かしたにぎわいの再興

～「観光立市よこすか」の実現～

(総合戦略 基本目標4 関係人口の創出や定住を促す魅力的な都市環境をつくる)

<主な取り組み>

(1) ルートミュージアムのさらなる強化

◎三笠公園のリニューアル

民間事業者と連携しながら、ロケーションを活かした魅力的な公園を目指します。(令和8年度以降 リニューアルオープン予定)



(2) 周遊と消費の促進

◎美術館の集客力の向上

多くの方がアートに触れ、美術館に親しむ機会を増やすため、より魅力的な展覧会を展開します。

- ・鈴木敏夫とジブリ展
- ・彫刻の森美術館との連携企画
- ・サルバドール・ダリ展 など



(3) 音楽やダンス、エンターテインメントによるにぎわいの創出

◎観光スポット、にぎわい・交流スペースの創出

- ・野比海岸にアート&フォトスポットを設置
- ・よこすか海岸通りの歩道整備(令和9年度完了予定)

◎民官連携によるにぎわいの創出

- ・ポップサーカス(浦賀レンガドック)
- ・オクトーバーフェスト(ヴェルニー公園) など



(4) スポーツによるにぎわいの創出

◎プロスポーツチームと連携した取り組み

横須賀市をホームタウンとする横浜 DeNA ベイスターズや横浜 F・マリノスと連携し、トップアスリートを身近に感じることのできる環境づくりを推進するとともに、地域のにぎわい創出を図ります。

- ・ベイスターズオリジナルナンバープレートの導入
- ・チームと地域が連携した集客イベントの実施 など

